



# 住北通信

第 20 号 発行日 R3.1.18  
発行者 校長 松下 佳司  
大東市立住道北小学校  
TEL 872-7788 FAX 872-7789

## 2021年「辛丑」さて、どんな年に!?

大きな事故等の報告もなく、無事、3学期が始まっております。今学期も、地域の感染状況を踏まえ、感染症対策を徹底するとともに、学習活動を工夫しながら、可能な限り学校行事や学年の取組み等を含めた学校教育活動を継続し、子どもの健やかな学びを保障することが肝要と考えております。

保護者・PTAの皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解とご支援、建設的なご意見をどうかよろしくお願いいたします。

さて、放送で行った**始業式**での講話を、改めて紹介させていただきます。

3学期の始業式では、毎回、干支のお話をしていますが、今年の干支は何年か知っていますよね。そう、**丑年**です。この放送を聞いている5年生と6年生の中に、**丑年**生まれの人がいますよね。

**丑年**生まれの人は、努力を惜みず、コツコツと自分の道を歩みます。穏やかで、優しく、真面目。頭の回転も良く、面倒見の良い人が多いのでリーダーとして頼られることも多いですが、いい気になって自慢するようなことはしません。また、常に落ちついていて、何事にも動じないという長所があるとされています。

今年は、**丑年**生まれの人の良いところを見習って、あわてずに、学びの一つひとつを確実に進め、賢くなることが大切です。そして、自分の目の前にある課題に黙々と取り組み、自分が求める結果に繋げる一年にしてほしいと願っています。

今から60年前の同じ**丑年**である1961年には、ソ連の宇宙飛行士**ガガーリン**という人が、初めて、宇宙へ行き、スキーや登山を楽しむ人が増え、坂本 九さんが歌った「上を向いて歩こう」という曲が、大ヒットしました。**ガガーリン**は宇宙へ、日本人は山へ、歩く時は、「上を向いて歩こう」と人々の視線は、上へと向けられました。

新型コロナウイルスへの感染症対策は、まだまだ続きますが、辛いなあと下を向かず自分が求める結果が、必ず手に入ると信じて、上へ上へと顔を上げ、みんなで仲良く力を合わせる一年にしていきましょう。

今年の干支は、**十干**、**十二支**の組み合わせで言いますと、**38番目**の「**辛丑**」(かのと・うし)となります。

「**辛(かのと)**」には、新しくなる、上に向かうなどの意味があるようです。一方、「**丑(うし)**」には、曲がっていたものが伸びるなどの意味があるそうです。

そこで、「**辛丑**」となる今年は、曲がっていたものを伸ばすという、**辛**はあるものの、**丑年**の方々のねばり強さ、堅実さ、誠実さを見習い、焦らず、着実に物事を進め、次なるステップに向けて努力し、力を蓄える一年にしたいと教職員にも思いを伝えました。

そして、始業式の講話で子どもたちにも伝えた通り、**60年前**の「**辛丑**」の年である**1961年**には、ソ連の宇宙飛行士**ガガーリン**が初めて宇宙へ行き、レジャーブームで**スキー**や**登山**が流行し、「**上を向いて歩こう**」が大ヒットしました。ガガーリンは宇宙へ、日本人は山へ、歩く時の視線は上へ。「**辛丑**」の年、**2021年**を生き抜く上で大切にしたい漢字は「**上**」ということで、**コロナ禍**にあっても下を向かず、子どもたちの健やかな成長を温かく見まもろうと決意を新たにしました次第です。今年もよろしく願いいたします。

1月の生活目標 : **相手の顔を見てあいさつをしよう。**

住北っ子の日常は住北小ホームページの「**学校日記**」で!ホームページへのアクセスをぜひ日課に!!

## 学校教育アンケートの実施について

学校教育アンケートの質問項目には、学校として大切にしている教育方針や教育内容、子どもにつけたい力などを盛り込んでおりますが、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの一年で、実施できなかった教育活動も多く、9番と11番の質問項目を見直し、改めております。つきましては、本日、保護者様あて家庭数で依頼文とアンケート用紙をお配りしておりますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

No	質問項目
1	学校は、学校だよりやホームページ等で教育方針や取り組みの様子をわかりやすく伝えている。
2	学校は、学習の内容や進度等を、懇談や学年通信等によって適切に知らせている。
3	学校は、授業を中心とした学習指導により、保護者が期待する学力を子どもたちに定着させている。
4	学校は、子どもの能力や努力を適切に評価している。
5	学校は、学習面や生活面において、規律正しい態度を育てようとしている。
6	学校は、子どものことについて適切に相談に応じている。
7	学校は、いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいる。
8	学校は、発達段階に応じて子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。
9	<u>学校は、新型コロナウイルス感染症対策に対応した学校運営を進めている。</u>
10	学校は、子どもが安心して学べる学習環境づくりに努めている。
11	<u>子どもに「学校の新しい生活様式」を踏まえた学校生活が定着している。</u>
12	子どもは、楽しく学校生活を送っている。
13	子どもは、学校での学習がわかりやすいと言っている。
14	子どもにしっかりと話を聞こうとする態度が育っている。
15	子どもに人の気持ちを大切に思いやりの心が育っている。
16	子どもは、遠足や運動会などの学校行事に楽しんで参加している。
17	子どもは、地震や台風などの非常時の対応の仕方について知っている。
18	家庭では、「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣づくりに心がけている。
19	家庭では、進んであいさつをしたり、言葉づかいに気をつけたりするように話している。
20	家庭では、社会のルールや学校のきまりを守るように話している。

旧アンケートの9番には、「学校は、不審者対応訓練を実施するなど、不審者等からの被害防止に取り組んでいる。」という項目を載せておりました。不審者侵入時の対応訓練については、四條畷警察にもご協力いただき、毎年、全教職員で取り組んできました。

今年度は、コロナ禍ということもあり、大東市教育委員会教育政策室に勤務されている警察OB 藤本 延彦 氏の講話を聴き、服務規律を正すという意味においても貴重な学びとなりました。

また、旧アンケートの11番には、「学校は、保護者が授業を参観したり、懇談会で話をしたりする機会を適切に設けている。」という項目を載せておりましたが、市内の感染状況等を鑑み、結果として、学習参観の機会をご提供できませんでした。地区を2分割し、2時間枠での実施等も検討しておりましたが、次年度の計画に活かしてまいります。このように至らぬ点多々ございますが、アンケートにご協力のほどよろしくお願いいたします。